

平素より不二サッシグループに格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

2024年3月期の業績および2025年3月期の業績予想ならびに株主総会決議事項等について、お知らせいたします。

■ 2024年3月期の経営成績

2024年3月期の連結会計年度の当社グループ（当社および連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、依然として続く建設資材の高騰、労働人口の減少に伴う工期の延長などに加え、新設住宅着工戸数の減少など、先行き不透明な状況が続いております。形材外販事業においては、諸資材価格の高騰や物量の減少など厳しい事業環境は続いております。

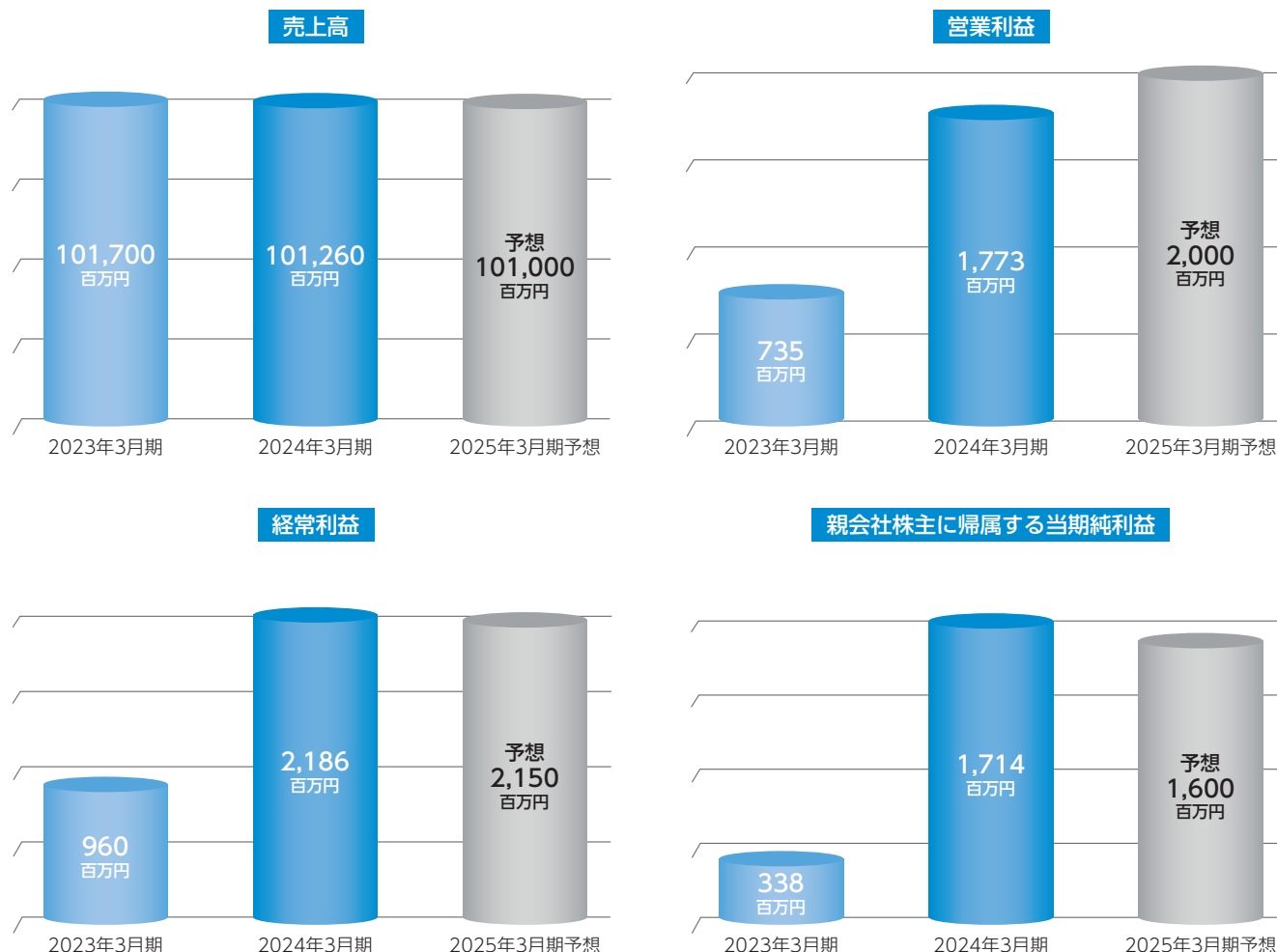
こうしたなか、不採算取引の改善や生産性向上など様々な施策を推進した結果、業績は大幅に改善いたしました。この結果、売上高1,012億6千万円、営業利益17億7千3百万円、経常利益21億8千6百万円、親会社株主に帰属する当期純利益17億1千4百万円となりました。

なお、2025年3月期の業績予想につきましては、エネルギー価格やアルミ地金の高騰、地政学リスクの増大、2024年問題への対応に加え、ITインフラの構築に向けた大規模投資を見込んでいますが、営業強化や経費削減等に取り組み増益を見込んでおります。



代表取締役 江崎 裕之

■ 2023年3月期、2024年3月期および2025年3月期予想

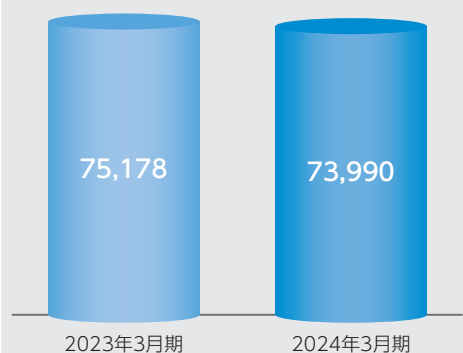


■ 事業（セグメント）別の売上高および利益推移

建材事業

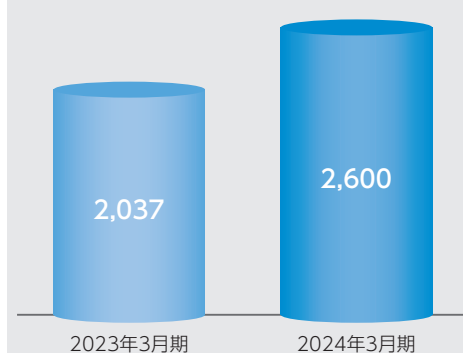
売上高

単位：百万円



セグメント利益

単位：百万円



【建材事業】

依然として続く建設資材の高騰や労働力不足などに起因する建設計画の見直しや工期変更の影響などにより、

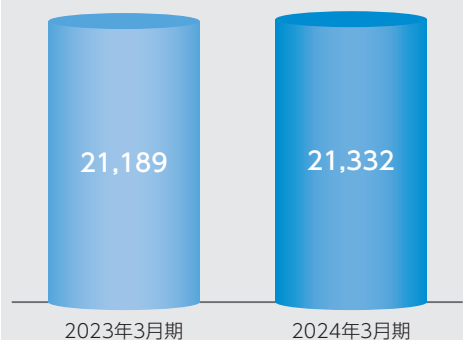
売上高は739億9,000万円と減収になりましたが、地金価格が前年比で下落したことに加えて、営業強化による利益率の良化などにより、

セグメント利益は26億円と増益になりました。

形材外販事業

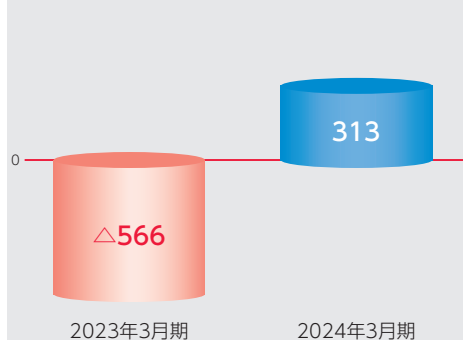
売上高

単位：百万円



セグメント利益

単位：百万円



【形材外販事業】

物量減少の影響を受けましたが、一般形材の納期遵守など顧客対応力強化に努めた結果、

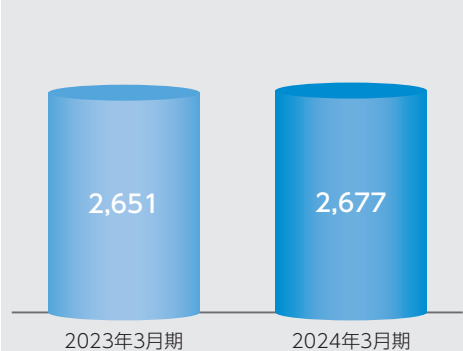
売上高は213億3,200万円と増収になり、不採算取引や運送単価の改善、アルミ加工品での内製化による外注費の低減などによる利益率の向上により、

セグメント利益は3億1,300万円と黒字化したしました。

環境事業

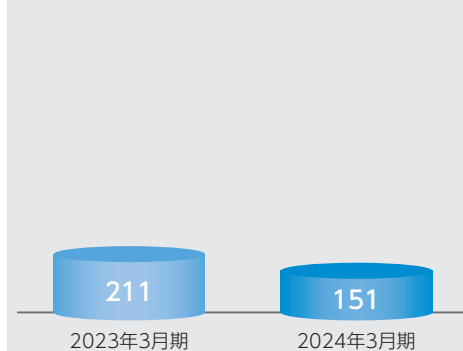
売上高

単位：百万円



セグメント利益

単位：百万円



【環境事業】

プラント部門のメンテナンス事業に注力した事に加え、薬剤販売部門の販売価格上昇などにより、

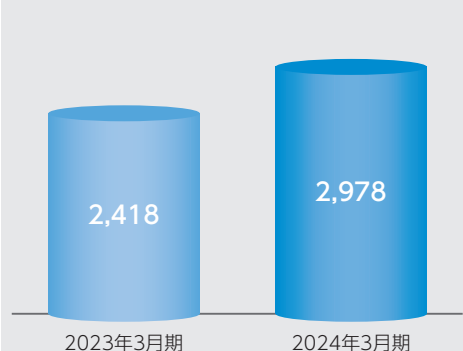
売上高は26億7,700万円と増収になりましたが、薬剤販売部門の仕入れ原価の高騰や新規プラント工事の減少などにより

セグメント利益は1億5,100万円と減益になりました。

物流事業

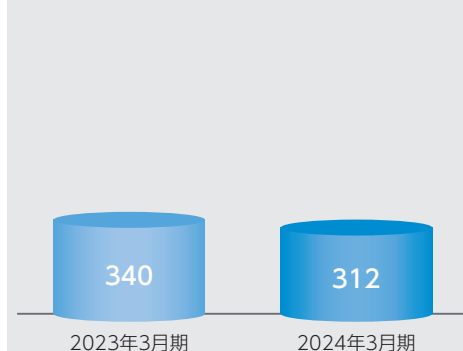
売上高

単位：百万円



セグメント利益

単位：百万円



【物流事業】

厳しい事業環境が続くなか、輸出作業の受注拡大および新たな営業倉庫の開設による保管事業の強化などにより、

売上高は29億7,800万円と増収になりましたが、依然として高水準の燃料費などの輸送コストの高騰などの影響を受け、

セグメント利益は3億1,200万円と減益になりました。

■ 株主総会決議事項

以下の件について、2024年6月27日に開催いたしました第43期定時株主総会において承認可決されました。

① 増配について

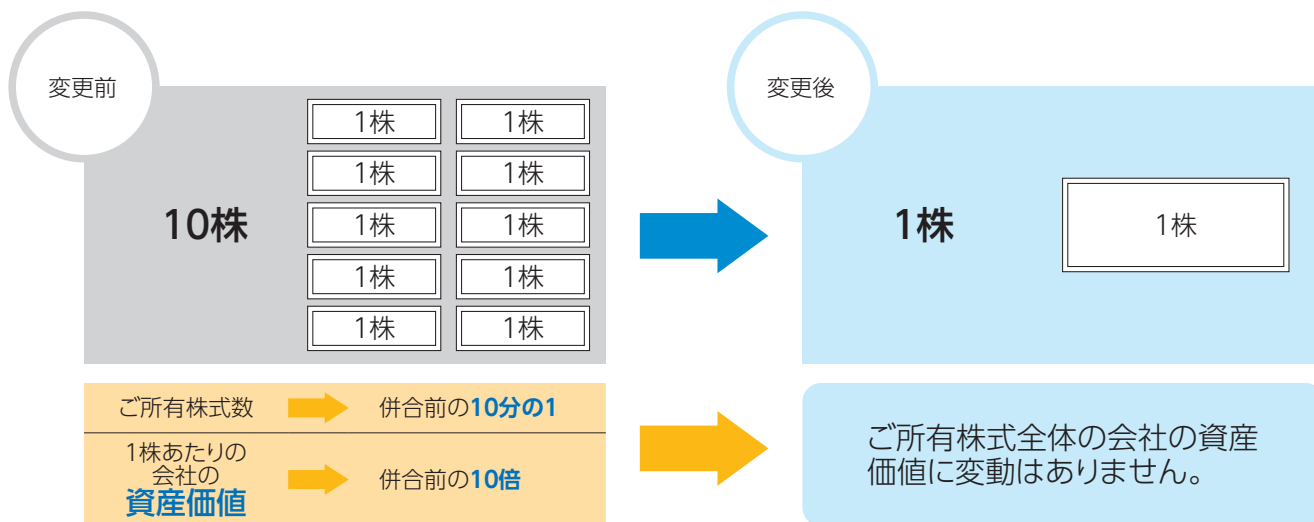
前年度決算を踏まえ、剰余金の配当を1株あたり1円から2円へ増配いたしました。

1株あたり2円

対前年比
+1円 

② 株式併合について

2024年10月1日付にて当社普通株式10株を1株に併合することを決議しました。



<ご注意ください>

- 単元株式数は100株のままで変更ございません。議決権は株式併合後のご所有株式100株につき1個となります。
- 1,000株未満の株式をご所有の場合は、本株式併合後、ご所有株式数が100株に満たない単元未満株式となるため、取引所市場における売買機会および株主総会における議決権を失うことになります。何卒ご了承のほどお願い申し上げます。
- 株式併合後の100株に満たない単元未満株式につきましては、単元未満株式の買取制度をご利用いただくことで、単元未満株式を解消することができます。この場合、株主様でのお手続きが必要になりますので、お取引をされている証券会社または株主名簿管理人までお問合せください。株式併合の効力発生前に、単元未満株式の買取制度をご利用いただくことにより、端数株式の処分を受けないようにすることも可能です。当社では「単元未満株式の買取」制度をご利用される株主の皆様の利便性を高めるため、今般の株式併合による同制度のご利用に伴い、当社に支払う手数料を無料とさせていただきます。（お取り扱いの証券会社にて、別途手数料が発生する場合がございます。）
- 10株未満の株式をご所有の株主様は、株式併合後、株主たる地位を失うことになります。何卒ご了承のほどお願い申し上げます。
- 株式併合後の1株に満たない端数株式は、当社が一括して処分し、それらの代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて分配いたします（株主様にて特段のお手続きをいただく必要はございません）。

③ 女性社外取締役の選任について

当社は社外取締役として

はまさき り か

濱崎 利香 氏（現・㈱かんぽ生命保険 執行役）を選任いたしました。

このことにより、社外取締役が3名、社内取締役が5名となり、社外取締役の員数が3分の1を満たし、また、ジェンダー、多様性の面においても適正な構成となります。

■ 目標ROEと資本コストについて

当社は2024年5月14日、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を公表いたしました。PBRを向上させるためには、まずは収益力の向上が最優先と認識しており、指標はROEとし、継続して8.0%以上（現・中期経営計画にて設定）を目指します。

資本コスト（株主資本コスト）は、現状7%程度と認識しており、ROEの目標水準の妥当性はあるものと考えております。

- ・ROE8%達成のためには、20億円以上の営業利益が必要です。

今後、諸資材価格の高止まりに加え、増加が見込まれる人的資本への投資や物流費等を織り込みつつ、新たな収益機会の獲得や業務プロセス見直し等を通じて、目標とする収益計上に努めてまいります。

	2023/3月期 実績	2024/3月期 実績		(単位:百万円) 2025/3月期 計画
売上高	101,700	101,260		101,000
営業利益	735	1,773		2,000
営業利益率	0.72%	1.75%		1.98%
当期利益	338	1,714		1,600
純資産	18,630	20,953		215億円程度
ROE※	1.9%	8.7%		8%程度

※ROE算出上の分母は非支配株主持分控除後の純資産の2期平均値
また、分子は親会社に帰属する当期純利益
斜字は公表計数に基づく予測値

「アルビームプラス フォルティナ®」を新発売

「アルビームプラス フォルティナ®」は、当社の主力カーテンウォール「SR-GARELIA」に、TOPPAN(株)の化粧シートラッピングを施した高意匠・高性能ルーバー「フォルティナ®」を加えた、新しいファサードシステムです。

当商品は、昼夜ともに高い意匠性を備えながら、従来の省エネルギー性能にも寄与するファサードデザインとして開発いたしました。

光の演出で魅力あるビルファサードを提案する「アルビームシリーズ」の新たなラインナップとして、今後も都市や街並みづくりにおいてお客様にご満足いただけるソリューションを提供してまいります。



主力カーテンウォール「SR-GARELIA」に一定の間隔でフォルティナ®を配置したデザインパターン。
(夜間のライトアップイメージ)